

(12) NIE 研究会

会 長 門田 典弘 (東中筋小)
副会長 徳弘 純一 (中村小)
事務局 井上 忠和 (西土佐中)

1. 研究主題 「新聞を活用した言語活動の充実」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場
4月初旬～ 5月 9日(火)	四万十市教育研究会組織総会 ・役員選出 ・研究主題設定 ・年間計画	四万十市立 中村中学校
7月31日(月)	四万十市教育研究会 夏季研修会 第1回学習会 講話・演習「NIE 活用の基礎」 講師：高知新聞社読もっかNIE 編集部 野村 圭 様 香南市立佐古小学校長 梶原 和美様	四万十市立 中村中学校

3. 今年度の取り組み

○第1回学習会

- ・本年度は2部構成での学習会となった。1部では NIE に関する基礎知識とはがき新聞づくりを含めた応用について、学力向上の根拠を示すデータなどを交え新聞社の立場から講演していただいた。2部では、毎年希望のあった「実践」について、NIE アドバイザーとしての実践を膨大な資料とこれまでの経験から得られた思いや考えを惜しみなく伝えていただいた。実際に資料を使って何度も体験をすることで、より実感することができ、今後の活用の見通しを参加者が得られた貴重な時間となった。

～研修後の参加者アンケートより～

- ・お二人の講話や実践の紹介は、相互に関連した内容が豊富で、本当にいい研修となった。
- ・心に残っていることは、言葉を考える所です。穴抜き問題にしてくれて、必然的に考えるという状況を作って下さり、自分も体験的に言葉を考えることを通して言葉を磨くことの大切さを実感しました。その中でも、イチョウの葉の舞い落ちる中にたたずむ母子の写真の姿の見出しを考える場面で、“金色の□□舞い降りた”という言葉を考える時に、□□が、小鳥だと知った時は、思わずハッとさせられました。NIE の学習というより自分の言葉に対する感性を磨くことの大切さを考えさせられました。言葉を磨くということは感性を育てることなんだなと思いました。
- ・NIE については私の勉強不足の部分もあり、授業で実践することに難しさを感じていた。しかし、今回の講話を聞き、NIE の教育が身近なものであり、実践に対してのハードルが低くなったように思う。講話の中でもあったが、まずは先生が楽しむということを大切に、授業の中で新聞を活用し、生徒の力を伸ばしていきたい。
- ・新聞活用をすることで語彙力を高めたり自分の考えをまとめ、書く力をつけたりしていくという事がよくわかる講話でした。また、そのための実践も多く知ることができました。自校では、文字数や段落数等の条件を付けた文章を書くことに課題があります。今日の梶原先生の実践を参考にしてみたいと思いました。

野村さんの話では、「新聞」についての基本的なことがよくわかりました。紙面では以外にも写真の占める割合が多いことにも納得しました。「誰に何を伝えたいか」を大切にしていくことも文

字が多すぎると読みづらい紙面になることも勉強になりました。

- ・高知新聞の野村さんのお話では、新聞のつくり方について、新聞コンクールの入賞作品を事例に、5つのステップやポイントを分かりやすく教えていただいた。写真の配置（XY）の工夫があることや、見出しが記事の出発点であること、また、書く際には、見出しやレイアウトを考えたうえで、残りの部分に記事をどう書くかを考えることなど、2学期から実践するうえで、指導する際押さえておきたいポイントをたくさん聞くことができ、大変参考になった。

また、佐古小学校の梶原校長先生のお話からは、「まずは教員がNIEを楽しむこと」ということを教えていただき、原点に立ちかえった気持ちになった。記事を読んだり書いたりするだけでなく、新聞の写真や広告を活用した様々な事例を実際に紹介していただいたり、体験したことで、実際に自分自身が「楽しい！おもしろい！へえ～！なるほど！」という気持ちになった。校内の取り組みを進めるに当たり、まず自校の教職員でNIEの楽しさを知る時間を作るなどしながら、「楽しさを子どもにも」というスタンスで取り組みを進めていきたいと思う。

- ・野村氏、梶原氏、それぞれの立場と経験に基づく講話と演習で、此方が求める情報が満載の充実した研修となった。野村氏は、なぜ、学校現場でNIE活動が求められ、実践されているのか、その大本となることを示していただきながら、記者の立場からも読み手を意識した新聞のつくり方として、新聞づくりの五つのステップ等の話が強く印象に残り、これからの取り組みに生かしたいと思った。梶原氏は、たくさんの新聞提示資料やワークシートを用意していただき、子どもたちも教師も楽しく取り組める新聞の活用術について演習を通じてその実践に学ぶことができた有意義な時間となった。

4. 成果と課題

〈成果〉

- ・今年度も夏季研修会とNIE全国大会の日程が重なっており調整を行うこととなったが、昨年度の振り返りを活かし事前に開催日を検討したことで、メンバーが多い中にもスムーズに開催日時を決定することができた。
- ・長年参加者より希望のあった「実践紹介」に関して、希望に沿う内容の学習会を開くことができた。
- ・参加者が積極的に発言することで、内容をより深いものにすることができた。また、歴史に残るであろう事件や物事が起こった時の情報発信の裏側を知ることができ、知識の幅を広げることができた。

〈課題〉

- ・各学校での様々な取り組みを共有できる機会があれば、より課題に迫る協議なども可能になるため各校の取り組み状況を紹介できる場の設定（NIEクラスルーム作成）があればいいのではないかと。
- ・夏季研修会で学びたい内容を事前に協議した上で講義や演習をお願いできればより一層充実した活動になると思われる。

